

おおだて 市議会だより

令和8年8月1日 161号



田代ふるさとまつりにて（令和8年6月14日）

議案等の審議結果	▶	2
一般質問	▶	4
議員表彰	▶	11
委員長インタビュー	▶	11
私もひとこと	▶	12



YouTubeで公開中

議案等の審議結果

令和8年6月定例会は6月1日～6月18日の18日間の会期で、条例案2件、専決処分の承認3件、単行案3件、補正予算案8件などの審議を行い、全て承認・可決されました。

審議の結果の主なものをお知らせします。審議結果の一覧は二次元コードからご覧ください。



令和8年度補正予算案 …可決された補正予算案の一部を紹介します。

母子生活支援施設整備事業 3,000万円

新規

白百合ホームの移転改築に伴う
外構工事の補助金



母子生活支援施設とは…18歳未満のお子さんを養育している母子家庭等の女性が、自立を目指し様々な課題解決に向けて、お子さんと一緒に暮らしながら支援を受けられる唯一の児童福祉施設で、秋田県内に6施設あります。

交通人材・組織育成事業 2,441万円

新規

バス利用実態や人流データ等のデジタルデータを活用し、データに基づき地域交通施策を検討・推進できる人材育成と体制構築を図る



比内中学校外壁耐震対策事業 1億6,250万円

新規

剥離・落下が懸念される既存外壁等について、防災機能の強化と教育環境の改善を図る



複式学級A Iアプリ導入事業 1,971万円

新規

複式学級向け生成A Iアプリを導入し、個別対応の限界などといった複式学級が抱える課題を解消し、複式学級の授業の充実を図る



このほか特別会計・企業会計を含めて、令和8年度予算は
779億4,702万8,000円となりました。

専決処分の承認

- 認第 5 号 大館市市税条例の一部を改正する条例
認第 6 号 大館市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
認第 7 号 令和 8 年度大館市一般会計補正予算（第 1 号）



条 例 案

- 議案第67号 大館市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案
議案第68号 大館市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除等に関する条例の一部を改正する条例案



単 行 案

- 議案第69号 財産の無償譲渡について（建物 赤石字伊勢堂岱地内）
議案第70号 財産の取得について（一体型電子黒板 64組）
タブレット端末との連携による相乗効果で学びの質の向上を図るため、小・中学校の全ての教室（普通教室）に導入します。
議案第81号 財産の取得について（大型スポットクーラー 16台）
避難所における暑さ対策等、良好な生活環境の整備として、市内中学校 8 校の体育館に冷房設備を導入します。



請願・陳情の審議結果

- 請願第 8 号 地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての請願
陳情第46号 東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情



- 陳情第50号 ツキノワグマの市街地への出没増加対策の財源として、森林環境譲与税の積極的活用を検討することを求める陳情書



- 陳情第32号 「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情書
陳情第39号 「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める」国への意見書提出を求める陳情書
陳情第45号 「「最低賃金」の改正と中小企業・小規模事業所支援の拡充を国に求める意見書」の採択を求める陳情書
陳情第47号 ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択の陳情について
陳情第48号 mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書
陳情第49号 「司法修習生採用選考審査基準」に国籍条項を設けることを求める意見書提出に関する陳情





かね や ま ゆみ
金谷 真弓
(真政会)



大館市の未来の水道について

〔問〕 法定耐用年数を超える老朽管路の更新と、老朽化する浄水場施設に対するさらなる対策をすべきと考える。古い浄水場から順次一部延命工事に着手していく政策の打ち出しを求める。

〔市長〕 老朽管路については、漏水の可能性が高い管路から優先的に更新していく。また、浄水施設の対策については重要施設である山館浄水場の設備更新を進めてきたほか、今年度から2カ年で水道施設基本計画の策定を進め、施設の改修計画や強靱化に反映する方針である。

〔問〕 災害時対応で現在取り組み

る最良で最適な対策は給水車の設置と考える。高齢者等の交通困難者にとっては給水拠点となる避難所までの移動が負担となる。また、広域で断水した場合の避難所数は100力以上にのぼる。応急的な給水体制の強化をしてはどうか。

〔市長〕 災害時の給水体制については、積込型1000ℓの給水タンクで給水拠点を設営するほか、高齢者等の世帯には給水パックで直接届けている。今後は、病院や学校などに設置されている受水槽に直接給水が可能な加圧型給水車の導入のほか、消火栓を活用した応急給水栓の設置などを検討していく。



大館市議会YouTube公式チャンネルで
議会の様子を視聴できます



小・中学校における金融教育について



い と う れ い
伊藤 励
(市民の風)



〔問〕 若年層が投資詐欺や闇バイト、オンラインカジノなどの金融トラブルに巻き込まれるリスクが高まっており、こうした時代だからこそ金融教育は重要であると考える。市内小・中学校における金融教育の現状と今後の取り組みについて伺う。

〔教育長〕 現在、金融教育に関わる内容が小・中、高等学校ともに必修化されており、義務教育段階では、主に社会科、家庭科を中心に実践的、横断的に取り扱われている。専門家を招いた授業なども行われており十分な学びが進められているものと認識しているが、今後も教材の選択肢を広げながら金融教育の二層の充実に努めていく。

お祭りインターンシップについて

〔問〕 人口減少や人手不足、若者の県外流出が進む中、首都圏等へ進学した学生とのつながりを維持することが課題である。学生が日中は仕事を体験し、仕事終わりや休日には祭りやイベントに参加しながら地域の魅力や暮らしを体感できるお祭りインターンシップは、関係人口の拡大やUターン、定住促進、担い手確保につながるかと考えるが、市長の考えを伺う。

〔市長〕 昨年のきりたんぽまつりには学生が運営スタッフとして参加したほか、大館神明社例祭にも多くの学生や社会人が帰省し参加している。市内企業の多くが新卒者の確保に苦慮する中、人材確保に向けた取り組みは重要であると認識している。今後は企業や関係団体と連携しながら情報収集と本市の魅力発信に努めていく。

〈問〉市が単独で新焼却施設を整備する方針となった今、将来の財政負担を抑えるためには、施設規模を左右する今後数年間のごみ減量が極めて重要である。特に燃やせるごみの約半分を占める生ごみの水分を減らせば、重量が減り、建設費や運営費の抑制に直結する。IoT技術で削減量を可視化する実証事業など、本市独自の意欲的な施策を打ち出すべきではないか。また、生ごみの資源化を単なるごみ対策にとどめず、農業や脱炭素、DXなどを横断する地域

生ごみ減量によるごみ処理コスト削減と地域循環システムの構築について



よし だ ゆう いち ろう
吉田 勇一郎
(令和会)

循環インフラとして次期おおだて未来づくりプランに位置付けることを提案する。

〔市長〕 令和19年度の稼働を目指し、今年度から施設整備基本構想の策定に着手した。ご指摘の通り、生ごみの水切り徹底や食品ロス削減は処理費用の抑制に大きな効果があると認識している。今後は全一般廃棄物を対象に最大限の資源化を検討し、将来の人口推移も踏まえた費用対効果の高い資源循環型スキームを構築していく。また、次期おおだて未来づくりプランにおいてごみの資源循環を幅広い分野を横断する地域循環インフラとして位置付ける考えであり、国や他自治体の先進事例も参考にしながら、持続可能なごみ処理体制の構築に努めてまいりたい。

8月下旬に市のホームページに会議録を掲載予定です。



公立と民間保育施設の在り方について



やなぎ だて こう
柳館 晃
(真政会)

〈問〉少子化の進行は保育施設の経営環境に大きな影響を与えている。特に民間保育施設においては、園児数の減少による収入減少が経営を圧迫している。このような現状の中で、本市が設置・運営する公立保育施設の在り方について改めて検討すべきである。限られた財源の中で持続可能な保育環境を維持するためには、公立と民間が果たすべき役割を明確にした上で民間保育施設へシフトしていくことは重要な行政課題である。経営環境がより厳しくなっている民間保育施設への対応も含めて、本市

はどのような支援策を講じていくのか。

〔市長〕 今年3月に策定した公立保育施設適正配置計画の中で、今後は定員割れとなっている地域の保育施設を中心に、就学前の教育・保育を公立から私立に移行することとしており、既に廃止が決まっているへき地保育所その他、指定管理している4つの保育園及び市直営の5つの保育園についても順次縮小・廃止を進めていく方針である。





たむら のりみつ
田村 儀光
(真政会)

大館市民の力を積極的に活用すべき

〈問〉 新事業の大館ベンチャーボ・大館レガシーラボは外からの力である。大館市にある地域応援プランや今年度から始めた集落支援員制度を積極的に活用し、内からの力を大いに発揮すべきと思うが、市長の考えは。

〔市長〕 地域応援プランは今年度から申請条件を緩和し、活用に向けた相談を随時受け付けている。また、財源として過疎債を活用していることなどから、これまでは受付期間を4月前半としていたが、他の財源確保の可能性を探り、受付期間の延長など柔軟化に向けて精査していく。また、今年度から運用を開始した集落支援員制度

について支援員の活動状況や活動地域における課題を確認し適宜サポートするとともに、地域活性化に向けた意欲ある取り組みを後押ししていく。

有機農業推進の考えについて

〈問〉 国は2050年までに有機農業の割合を全農地の25%である100万ヘクタールに拡大するとしているが、市長の考えは。

〔市長〕 市では令和4年度から3年間で有機農業の実証を行った上で、令和7年度にはおおだて環境保全型農業推進の会の設立を支援し、有機農業の普及を図っている。また、今年3月には第4次大館市農業ビジョンを策定し、環境負荷の低減や農作物の付加価値向上を目指し、有機農業を推進していくこととしている。引き続き有機農業の輪を広げるべく、オーガニックビレッジ宣言に向けて有機農産物の生産から消費まで一貫した流通体制の確立を目指していく。



大館市議会YouTube公式チャンネルで
議会の様子を視聴できます



あかし ひろやす
明石 宏康
(真政会)

除雪体制の構築について

〈問〉 事業者の目線で考察した。今回のような大雪では日に何度除雪しても苦情がやむことがなく、大変だったはずである。排雪ではなく除雪の場合、どうしても道路の雪は玄関先に置いて行かれる。その都度苦情が市役所へ届く悪循環だったと思う。彼ら事業者にも意見や要望がある。建設業には建設業協会が、商工業には商工会議所といった、行政に要望等を届ける団体があるが、広範な業種で構成される除排雪事業者には現在そういった組織はない。市役所が開催する意見交換会を形骸化させず、発注先の行政にはなかなか物を申

せないといったことがないように願うとともに、有益な会であってほしいと考えるが、市長の考えは。
〔市長〕 4月に行った全事業者に対するアンケートでは、3者からオペレーターの高齢化や機械の維持管理が困難との理由で辞退の申し入れがあった。一方、72者からは継続を希望、17者からは受託路線を増やしたいとの前向きな回答を得た。意見交換会では業務全般をはじめ、市民協働の可能性などについて意見交換をした。事業者からは初動の遅れによる影響、ロータリー除雪車の不足、雪押場の増設についてなど多様な意見が出された。事業者のリスクを低減する最低補償制度や、運行管理システムの導入、優良事業者への表彰のほか、令和7年からは事業者裁量で排雪作業を行えるなど、相互の事務手続きを簡素化している。

〔問〕 3月に発生した母子案件について、市の対応はどうだったのか。また、今後このような悲しいことが起きないようにどのような対策を考えているか。あわせて地域コミュニティのつながりや宅

ひとり親家庭の支援について

〔市長〕 基金等の一部活用で未就学児の均等割をゼロにすべきである。いては、制度全体の公平性や持続性の観点から慎重な判断が必要である。国の政策や施策の効果を見極めていくとともに、子育て環境を注視していく。

国保税の未就学児の均等割をゼロに



いま いずみ ま き こ
今泉 まき子
(日本共産党)

配、郵便配達員などの連携の確認が必要と思うが、市長の考えは。〔市長〕 謹んでお悔やみ申し上げます。大館市子ども・家族支援ネットワークにおいて関係機関との連携を密にし、適切な支援の協議などを行っている。宅配業者や郵便局なども参加する大館市見守り隊による見守り活動も実施している。来月からは子育て世帯訪問支援事業を開始する予定である。

へき地保育所の閉園による影響は

〔問〕 閉所になり、通園先が遠距離になるなどの影響はないか。〔市長〕 転園先施設の調整については、保護者の就労場所や児童の送迎など個別の事情を伺い、希望に寄り添い対応している。通園距離が大幅に増えた家庭には通園費用の補助を実施している。また、転園先の児童と事前交流の機会を設け、転園する児童が早くなじめるように配慮している。

8月下旬に市のホームページに会議録を掲載予定です。



除雪の支援策について



はな た つよし
花田 達よし
(市民の風)

〔問〕 令和7年3月定例会で一般質問した本市における除雪体制について、その後の改善状況を伺う。令和7年2月20日深夜から翌21日の降雪があった。本年6月1日の北鹿新聞には「なり手不足深刻化 大館市の行政協力員」と、降雪等による広報配達の苦労が掲載されていた。有事の際は私が提案している、幹線道路は大型機械を保持している業者に、路地は近隣住民が所有している小型ローダーを活用する仕組みを考えるべきと思うが、市長の考えは。〔市長〕 令和7年度の大雪の際には、気象予報を確認し除雪作業の

開始時間を大幅に早めるとともに、雪が降りやまない場合には日中も引き続き除雪を行う体制を整えた。その上で、幅員が狭い道路13カ所で地域住民に所有する小型除雪機を使用した道路除雪に協力いただいた。しかし、道路状況の悪化により路線バスの運休や自家用車の走行困難など、市民生活に大きな影響が出た。昨年度のような大雪における除雪体制の改善点を探るため、現在、市民や団体、企業の方々にボランティアで除雪に協力していただく場合の安全確保や、万が一事故が発生してしまった場合の対応などについて精査しているところである。4月14日には除雪業者と意見交換を行い、道路管理者と除雪業者が連携し一体的に行うスクラム除雪を拡充する仕組みづくりについて話し合った。除雪に関連する他の施策とともに市民の暮らしの下支えに努める。





そう ま え み こ
相馬 エミ子
(市民の風)

公用車を利用したカーシェアリング事業について

〔問〕 湯沢市では公用車を活用したカーシェアリング事業が注目されている。市民や観光客へ新たな地域公共交通を提供するもので、一定の利用者数が期待されている。公用車が空いている時間を有効活用できるカーシェアリング事業について、市長の考えを伺う。

〔市長〕 本市は大館版mobiを導入し交通機関を補完している。また、市内には既にレンタカーやカーシェアリング事業者が複数あるため、同様の事業に市費を投入することについては慎重に判断したい。

ふるさと住民の登録者確保について

〔問〕 ふるさと住民登録制度が始まっており、プレミアム登録が特に重要になると考える。本制度は住民との関わりを深め、人の流れを加速させることができる制度と考えるが、登録者の確保について、市長の考えを伺う。

〔市長〕 現在、先進自治体の情報を収集し、本年度中の導入に向けた準備を進めている。渋谷区での情報発信や市公式LINE等を活用し、登録者の確保に努めていく。

閉所した下川沿保育所の利活用について

〔問〕 園児の減少により64年の歴史に幕を閉じた下川沿保育所の今後の利活用について、市長の考えを伺う。

〔市長〕 保護者や地域の意向を最大限考慮した上で進めることとしており、今後も地域の皆さまとの協議を継続していく。子どもの交流の場としての利活用についても、地域の皆さまからのご提案を頂きながら検討していく。



大館市議会YouTube公式チャンネルで
議会の様子を視聴できます



子どもたちが安心して通学するための熊対策について



さ とう かず ゆき
佐藤 和幸
(真政会)

〔問〕 市内で熊の出没が相次いでいる。学校周辺や通学路で目撃された場合、徒歩通学の中止や保護者送迎などとなり、児童・生徒や家庭、学校、地域に大きな負担が生じている。学校周辺や通学路を重点的な対策区域と位置付け、誘引物の除去や刈払い、緩衝帯整備など、熊を寄せ付けない環境整備を進めるべき。

〔教育長〕 熊よけ鈴の使用方法的指導や撃退スプレーの配備、緊急メール、学校敷地の誘引木伐採や刈払い等を実施している。今後は警察、道路管理者、教育関係者の3者からなる通学路安全推進委員

会において、市林政課とも協力し、危険が予測される箇所や緩衝帯とすべき区域について、土地所有者の理解を得ながら国や県の交付金等を活用して環境整備を進めていく。

地域未来戦略とインランドデポ構想について

〔問〕 本市は都市鉱山による資源循環や木質バイオマスによるエネルギー循環、北東北の要衝としての物流循環という強みを有している。これらを結び付けた大館版地域産業クラスター「Circular Hub (サーキュラーハブ) [アップデート]」を形成し、インランドデポ構想を成長戦略の基盤として位置付けるべき。

〔市長〕 3つの要素を基軸とする地域産業クラスターは、本市の強みを生かした新たな成長戦略である。大館駅インランドデポ構想の実現に向け、関係者の支援を得ながら取り組みを加速させ、県との連携も図りながら地域産業クラスターの形成につなげていく。

ゼロカーボンシティの 進捗と今後の課題につ いて

〔市長〕 審査においては、公表している審査要領により審査委員が客観的に評価できるよう、評価内容の詳細を示した基準を設けるとともに、本市への寄附拡大につながる取り組みを評価するため、評価項目のうち、企画提案内容と、実績及び業務実施体制に重きを置いたものとした。

ふるさと納税中間管理事 業者の選定結果について



く どう けん いち
工藤 賢一
(市民の風)

〔問〕 再生可能エネルギー等の導入の推進についての現状と課題、特に地域新電力創設の進捗状況について、市長の見解を伺う。

〔市長〕 現在、太陽光発電システムは本庁舎や小学校など公共施設に計16件設置され、3割の電気料削減につながっている。自治体新電力の創設は再生可能エネルギーの地産地消に欠かせないものであり、県のサポート事業による支援を受けながら取り組みを進めている。

クリーンクスタートア ップ事業について

〔問〕 制度創設から2年が経過している。制度の効果的な運用のためには、県医師会とも連携しながら医業承継支援も積極的に行うべき。

〔市長〕 制度活用には至っていないが相談実績は7件あり、引き続きPRに努めたい。また、医業承継についても支援対象としている。

8月下旬に市のホームページに会議録を掲載予定です。



市長にとって「大館と いうところ」の目玉は 何か



さ さ き こう し
佐々木 公司
(令和会)

〔問〕 何に最も力を入れて、大館力を発信するのか。

〔市長〕 これまで大館曲げわっぱ、きりたんぽ、比内地鶏などをふるさと納税などを通じて発信してきた。また忠犬ハチ公のふるさとであり秋田犬の本場として認知されてきた。新たな担い手の確保が重要と考え、大館ベンチャーラボなどに取り組む。

防災気象情報の見直し への市の対応は

〔問〕 本年5月29日から運用開始された防災気象情報への市の対応と、市民への周知はどうか。

〔市長〕 新たな防災気象情報の運用開始に合わせ、ホームページや市広報での周知を図っていく。

人口減少についての施 策は

〔問〕 大館市の将来推計人口や若者の人口移動とその要因をどう捉えているか。また、子育て支援体制は盤石か。

〔市長〕 本市の将来推計人口は、令和9年度で6万2700人、2060年には約4万人と推計している。若者の人口移動については、多様な職種や教育環境などを求めている。転出と捉え、そういう状況下で子育て世代が子を生み育てやすい環境整備と、経済的支援や保育の質の向上に取り組んでいる。

中東情勢の緊迫化が市 民生活に及ぼす影響へ の対応は

〔問〕 物価高騰などで市民生活への影響も増えてきているが、その対応は。

〔市長〕 今年度、物価高騰対策として、住民税非課税世帯へ地域限定商品券の交付のほか、プレミアム付商品券の販売を予定している。今後、国の交付金の配分額に基づき、効果的な支援策を適切なタイミングで実施する。





あき もと 貞一
(令和会)



小学校の統廃合について

〈問〉 多地域就学制度の一形態であるデュアルスクールとは、地方と都市の二つの学校が一つの学校のように教育活動を展開することができる新しい学校の形のことです。二地域居住や地方移住を促進する際の子どもの教育上の課題の解消とともに、親の働き方改革や地方と都市の双方の視点を持った児童・生徒の育成が目的とされている。学校の統廃合を既定路線とせず、小規模校の魅力を生かしたデュアルスクール制度の調査・研究と導入へ向けた検討もすべき。

〔教育長〕 区域外就学制度のメリットとリスクの双方を見据え、今後、デュアルスクール制度を実践している自治体の事例も参考にし

ていく。また、小・中学校の統合再編を単に学校数を減らすための手段ではなく、学びと地域との関係を再設計する機会と位置付け、未来大館を創造する学校教育環境の適正化を図っていく。

市民有志が活躍できる補助金事業について

〈問〉 過疎地域持続的発展計画の中の事業の一つであるまちづくり団体事業補助金制度を、地域応援プランにならい意欲ある市民団体を取り組みやすい制度へリニューアルしてはどうか。

〔市長〕 制度のリニューアルについては、地域を元気にしたいとの強い思いやチャレンジ精神を持つ団体からの申請が予想されるものであり、地域活性化に寄与するものと捉えている。どのような形がベストなのか、速やかに精査していく。



大館市議会YouTube公式チャンネルで
議会の様子を視聴できます



お ばた しん いち
小畑 新一
(公明党)



人口減少対策について

〈問〉 人口減少対策として、さまざまな施策をしてきたが、その予算額と効果は。また、令和9年の総人口6万2700人の目標に対しての成果の見通しは。

〔市長〕 人口減少対策として、当初予算ベースで令和6年度は約40億円、7年度は約43億円を措置した。令和9年総人口の目標達成は容易ではないと捉えている。

〈問〉 おおだて未来づくりプランにある令和9年の目標値、合計特殊出生率1・63を達成するための施策はあるか。

〔市長〕 国の見込みを勘案し目標値とした。秋田県状況からみても、本市において、達成は厳しいものと認識している。

避難行動要支援者について

〈問〉 市町村に対し、個別避難計画の作成が努力義務となっている。これまでの個別避難計画作成の進捗状況とその作成経費の支出状況は。また、個別避難計画作成担当部署は、福祉課と危機管理課の連携・共同管理にすべきではないか。

〔市長〕 昨年度は必要経費として300万円が試算され、市への交付税額は160万円ほどになる。今年度は事業費70万円を措置したが、計画作成の進捗を見ながら、必要な予算を措置したいと考えている。今後も消防や警察などの関係機関と連携し、災害時の迅速な避難行動につながるよう、計画の作成に取り組む。

その他の質問

・人口減少が進む中での行政のスリム化と市民の福祉の増進について

全国市議会議長会表彰

長年活躍した議員に表彰状が伝達されました。

35年



花岡 有一 議員



相馬 エミ子 議員

15年



佐藤 芳忠 議員



田中 耕太郎 委員長

委員会

インタビュー

厚生常任委員長

常任委員会って何をしているのか、疑問に思ったことはありませんか？
議会報委員が、各委員長に疑問をぶつけてみました。

Q 厚生常任委員会は市民生活のどんな部分と関わっていますか？

厚生常任委員会は、市民の生命や財産に最も直結する部分を担っています。

Q これまでの委員会で、特に重点的に議論されたテーマは何ですか？

これまでの委員会では、特に扇田病院の問題が重点的なテーマとして議論されてきました。

Q 委員長として意識している運営のポイントは何か？

厚生常任委員会の扱う問題は非常に多岐にわたり、その多様さに大変さを感じています。運営に当たっては各委員の意見をしっかりと集約することを常に意識しています。

Q 大館市の課題を、委員会の立場でどう捉えていますか？

最大の課題は人口減少への対応です。人口が5万人を割ると病院の維持が困難になるという認識がありながら、現状では十分な対策ができていないことに強い危機感を持っています。

Q 市民には、どんな関心や関わりを期待していますか？

市民の皆さんには市政を他人事と思わず、当事者意識を持ってほしいと考えています。人口減少などの課題に対し、誰もが真剣に取り組まなければ社会のあらゆる仕組みが立ち行かなくなると懸念しています。



ありがとうございました！ 次回は総務財政常任委員長の予定です。

私もひとこと 第61回 しあわせな時間



よね ざわ
米沢
な お こ
直子さん
(清水南町)

～ Profile ～

保育施設経営
趣味 庭いじり。空や花、いきものの写真を撮ること
目標 減量すること

朝、目が覚めるとワクワクする。鉢植えの花やプランターの野菜。地植えの植物たち。みんな元気かな？ 水は足りてるだろうか？ 虫や病気は大丈夫？！ 伸び気味の枝や次々と生える雑草も気になってくる。出勤前、私の朝はあつという間に過ぎていく。我が家の小さな庭は、実家や近所から頂いた花とお気に入りの宿根草。それから春先に買った一年草でにぎわっている。花好きは母の影響。86才の母は大変そうだが、今でも庭の手入れを頑張っている。時にはスマホで育て方を検索し教えてくれるからありがたい。歳を重ね庭の手入れは大変と思うが、それが意外と元気の源のようにも感じる。

日陰が好きな植物もあれば、太陽や乾燥に強い植物もある。人間と同じでそれぞれに個性があつて面白い。厳冬の雪の下からも力強く芽を出す。適した環境が整えば、それぞれが特性を生かすべく育ってくれる。手と目をかけた分精一杯花を咲かせてくれる。毎日見ていると元気の度合いがすぐわかる。といっても、ビギナーガーデナーの私は、野菜はなかなか上手くない。ミニトマトにキュウリ、スイカも植えてみた。心得のある亡き父や祖母に教わっておけば良かったとき々思う。いずれにしても、育て育むことは子育てに似て共通する部分が多い。

子どもに関わる仕事がしたいと思つて26年が過ぎた。子どもたちは、日々の関わりの中で一番自分を見つめてくれる人は誰か、自分の気持ちをわかってくれる人は誰かを敏感に感じとっている。どんなに幼く小さくても、言葉を発することができなくても心を感じとって信頼と安心を得ているのだろう。座る、立つ、歩く、話す、食べる。何もかもが初めての瞬間に感動がある。ひとつひとつの成長に喜びが広がる。生命を慈しみ育むことを思うと、やはり植物を育てるのと子育ては、少し似ている部分があるなと思う。言葉はなくても心が届くから。土をいじりながら色々と考える。戦争や自然災害によって、ある日突然当たり前の日常が破壊されてしまったことができないなくなってしまうたら。目の前から彩りが消えてしまうだろう。花も子どもたちの笑顔も消えることのない平和な日常に感謝しつつ愛猫を傍らに草をとり花を育てる時間がなにより好きだ。

「私もひとこと」のコーナーでは、皆さんからの「なまの声」を募集しています。
議会事務局までご連絡ください。

編集後記

政治とお金

今回の一般質問では金融教育を取り上げました。18歳の頃、母の助言や東京で出会った方々との縁から、お金や将来を学ぶ機会を得ました。将来への備えを続ける中で不安が和らぎ、お金は大切でありながら、それ以上に家族や友人、地域とのつながりや故郷への思いに気づき、25歳で大館へ戻る決断につながりました。政治には新たな視点や可能性を提起する役割もあると考えています。来年、こどもNISAも始まります。この質問が、お金や将来を家族で考えるきっかけになれば幸いです。

(伊藤 励 記)

議会を傍聴してみませんか

本会議の傍聴は開会15分前から受け付けています。

市役所5階の傍聴席入口で、受付簿に住所・氏名をご記入いただくとなたでも傍聴できます。

ぜひお越しください。

※座席数には限りがあります。

また、傍聴席での発言や拍手、写真撮影等は禁止ですのでご注意ください。